

Dianthus

神より与えられた神聖な花「ダイアンサス(なでしこ)」

2020 Vol.62



むさし苑

メタセの杜

笑顔の再会

コロナウイルス感染予防対策により面会中止に
していましたが、6月22日より3密（密閉・密集・
密接）を避ける環境で、電話での予約制、時間制
限を設けたうえで面会を再開することができまし
た。面会者には健康チェックシートの確認、検温
の実施等ご理解とご協力をお願いしております。

再開以前は入居者様と会うことができないた
めご家族様には電話での会話やスマートフォンに
よる動画の視聴、ホームページの活用や職員によ
る伝達など直接接することを避けるかたちをと
らせていただきました。ベランダ越しに道路から
姿を確認されたご家族様もいらっしゃいました。
「何ヶ月も会っていないから私の顔や名前を忘れたん
じゃないかなあ」「ガラス越しでもいいから顔が見
たい」と心配されるご家族様がほとんどでした。

面会が開始されると入居者様、ご家族様お互い
顔を見合わせ「元気しよかったね」「誰かわかるね」
などと久しぶりの再会に会話を楽しまれ変わらぬ
元気な姿に安心された様子でした。短い限られた
時間を目一杯楽しんでおられました。



コロナ禍におけるご家族様面会について

○事前に電話で予約を受け付けます。



○玄関入り口横の手洗い場で、手洗い、手指消毒を行います。
*必ずマスクを着用していただきます。



○面会者健康管理シートの確認、検温を行い受付簿に記入していただきます。
*健康管理シート必要項目に該当すれば面会は出来ません。



○健康管理確認後、控室で待機していただき準備が整えばお声かけします。



○3密を避け、風通しの良い場所で面会を行います。(1Fコミュニティホール)

令和2年7月15日・16日に、デイサービスセンター天拝では、納涼祭を開催しました。納涼祭は、年間4大行事の一つでもあることから、フロアの壁面を夏らしく、南国風に飾り付けて、的あて・金魚すくい・パチンコ・かき氷・ポップコーン等、担当職員が考えた楽しいブースごとに盛大に開催します。しかし、今年は、新型コロナウイルス流行の為に、いつもの盛大な納涼祭が出来ません。そこで、3密を避け、夏の楽しい思い出を作っ
て頂こうと「くじ引き大会」を開催いたしました。とてもとても楽しい、特別な2日間の始まりです。

朝はいつも通りに、ご利用者様のお迎えに伺い、デイサービスセンター天拝に到着後は、ウエルカムドリンクで、ほっと一息して頂きました。看護師より、健康チェックを受けた後は、機能訓練で身体をあっため、後はゆっくり温泉に入っていました。

納涼祭の会場となるセンター内のフロアは、壁面の飾りつけに、ご利用者様の手作り提灯を一面に飾りました。ご自分の満面な笑顔写真を探しながら「あれは、私の写真じゃない?」「歴代の総理大臣みたい」と、皆様にはとても喜んで頂きました。

本日メインの「わくわくドキドキくじ引き大会」では、ご利用者様の机の列ごとに班を決め、リーダーを選出して頂きました。くじ引きを引くお宝箱は、大小さまざま4個あり、じゃんけんで勝ったリーダーから、そのお宝箱を選ぶ権利がありま

す。そして、各リーダーが決めたお宝箱から、今度は直接、ご利用者様がくじ引きを引いていきます。ご利用者様は、リーダーを選出する時から、すでに目は真剣でした。「何が入っているの?」「当たりは、何なの?」職員に質問責めです。職員は、ハズレなしのくじ引きで、景品もあんなものやこんなものも用意しています!と、話をしている矢先、担当職員から番号の読み上げが始まりました。ご利用者様は、景品に「何が当たった?」「これが当たったよ~」と、大騒ぎでした。

全員のご利用者様が景品を貰い、終わりかな?と、見せかけた瞬間に、「ダブルチャ〜ンス!大当たりの景品がまだまだあります」と、職員から紹介があった途端、フロア内は拍手喝采となりました。次々と番号が読み上げられる中、当選したご利用者様は「宝くじにもあたったことがないのよ、嬉しい~」と、喜ばれました。当たった景品を見せ合うご利用者様の表情はにこやかで、皆様の沢山の笑顔が見る事が出来ました。

納涼祭のくくりとして、ご利用者様も職員も一緒になって、炭坑節を踊りました。とてもとても楽しい、特別な2日間でした。

デイサービスセンター天拝 佐藤 珠美



私たちの事業所、大野城市南デｲサービスで一番のご長寿、山上小波様が、7月3日 満104歳のお誕生日を迎えられました。同じ年に生まれた有名人には、俳優のグレゴリーペックや、フランソワ・ミッテラン元フランス大統領がいらっしゃいます。

山上様がお生まれになった大正5年は、第一次世界大戦が起きている最中のことです。それから、大正、昭和、平成、令和と4元号をまたいで、激動の時代を生きてこられました。厳しい時代を乗り越え生きてこられたからなのか、とても優しい性格でいて、且つ、とてもお元気です。困っている方がいると、どうしても放っておかず、自分のことは差し置いて、困っている方を助けようと思えます。怒っている姿を見たことは、一度もありません。私にとっては、仏様のような存在です。そのうえ、今でも身の回りのほとんどのことは、ご自分でなされますし、介助は必要ですが、ご自分の足でしっかり歩くことが出来ます。読書が好きで、ご利用時に本を持ってこられますが、老眼の私には見えないような小さな文字も、しっかり読むことが出来ています。手先も器用で、サークル活動に参加された際は、細かい手作業も苦にされることなく、出来ていらっしゃいます。

そんな山上さんは私達職員や全利用者様の目標です！希望の星です！これからも、現在の状態を

維持して、元気な山上さんでいてください！そして、世界最高齢記録を更新しましょう！お誕生日おめでとうございます！！

デイサービスセンター南風 山田 大介



今年も半年が過ぎてしまいました。コロナや記録的な豪雨による影響で多くの方に影響が出たと思います。

むさし苑では幸いなことに入居者様と職員に大きな被害が出ることなく過ごすことができています。

苑内の行事や面会などは行うことが出来ず季節を感じる事がなかなか出来ておりません。そんな中でも入居者様に日々の生活の中で少しでも楽しんでいただけるように、小さい規模ではありますが誕生会や季節のイベントを催しております。イベント毎に参加された入居者様からは「楽しかった」「懐かしい」などのお言葉や笑顔を頂いております。

6月からは短時間ではありますが、面会もできるようになりました。久しぶりにご家族とお会いする入居者様は「会えてよかった」と素敵な笑顔をされていました。

なでしこ通り2丁目 木原 雄大



ひまわり通り2丁目ユニットでは、七夕という事でご利用者様の願い事を短冊に書いて頂きました。七夕は「たなばた」または「しちせき」とも読み、古くから行われている日本のお祭りの行事で、一年間の重要な節句をあらわす“五節句”のひとつにも数えられています。

皆様思い思いの願い事が書かれ、自分で書くのが難しいご利用者様は職員が協力しながら短冊を完成させることが出来ました。完成した短冊は一つ一つ丁寧に願いを込めて笹に飾り付けました。皆さん笑顔で行事に参加されており、少しでも季節感を感じて頂けたかなと思います。

ひまわり通り2丁目 田中 藍人

6月下旬ごろよりあさがお1丁目のベランダでユニット菜園を始めました。ブルーベリー、ミニトマト、唐辛子、パプリカ、イチゴを育てています。実がなり食べれるように育ったブルーベリーとミニトマトは、冷蔵庫で冷やして入居者様に食べてもらっています。天気の良い日には入居者様と一緒にベランダへ出て、様子観察したり、収穫してもらいました。野菜を育てるのが好きな利用者様の笑顔が見られ楽しそうな様子でした。

まだ実がなっていないパプリカやイチゴがあるので成長が楽しみです。

あさがお通り1丁目 徳永 果歩



5月24日になのはなの誕生日会を開催しました。5月生まれば2名でした。担当職員からのメッセージとプレゼントを嬉しそうに受け取られていました。参加されていた入居者の方からお祝いの言葉もあり、みんなで誕生日の歌を歌って、ケーキやプリンをいただきました。みなさん美味しそうに食べられており、いつもより食べるペースが早い方もおられました。

いくつになっても自分が生まれた日を多くの人に祝ってもらうことは嬉しい事だと思います。誕生日会は、とても喜ばれるイベントの一つでみなさん楽しみにされています。

なのはな通り 松澤 景子



7月19日さくら通り1・2丁目で集まり茶話会を行いました。おやつを食べる前にお腹を少しでも空かせてもらおうと童謡や懐かしい曲をみんなで歌いました。フロア内に歌声が響き渡り、それを聞いた職員が口ずさむほど皆さん大きな声で歌われていました。

梅雨明けを心待ちにして曇り空を眺めている利用者様に、少し元気を出してもらえるよう今回は“回転焼き”（太鼓焼き）を用意しました。日頃おやつでいただくよりボリュームもあり、みなさんそれぞれ「懐かしか〜」「久しぶりやね」「食べたかったとよ」「おいしか〜」との声が聞かれ満足顔が見られました。

さくら通り2丁目 伊藤 広恵





皆さんこんにちは。新型コロナウイルス感染症により、むさし苑でも3月からご家族だけではなく、外部の方の苑内への立ち入りが禁止となりました。散髪も今まで毎月行われていましたが、中止となってしまいました。

こすもす通り1丁目のモットー「整容」もどんどん伸びる髪の毛には対処しようがありませんでした。私達職員が自分達で切る事が出来れば…と考えましたが、何せ不器用な私達にはどうしようもありません。そこで、ヘアピンやゴムを購入し職員で結ってみる事にしました。入居者の皆さんの気分転換はもちろんですが、職員と入居者さんの大事なコミュニケーションの時間となり、他職員さんに「可愛い！」と言われた時のあの照れた表情、いくつになっても女性ですね～。

皆さんお勧めご希望の髪型がありましたら、是非こすもす通り1丁目までお越しくださいませ。

こすもす通り1丁目 塚本 史佳



今年はコロナウイルスにより、例年行われている皆そろっての納涼祭が中止となりました。そのため、少しでもお祭り気分を味わっていただけたらと「納涼祭メニュー」と題してイベント食を厨房の職員と検討しました。

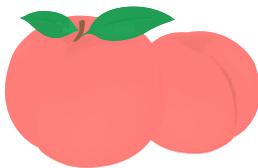
毎年納涼祭で人気のたこ焼き、目先が変わって楽しめるおにぎり、冷やし茶碗蒸しなどでメニュー



を構成しました。皆さん、美味しく食べていただけたようです。

コロナで今まで行っていた行事も難しい状況となっていますので、少しでも楽しんでいただける様な食事を今後も提供していけたらと思っています。

管理栄養士 園田 百合



暑かった夏も過ぎ、過ごしやすい季節へと変わりますが、季節の変わり目（夏から秋へ）で体調を崩しやすくなります。

免疫力を高める体づくりを心がけてみませんか？

<栄養>

○腸内環境を整えて免疫力アップ！！

- ・バランスの良い食事を心がけましょう
- ・発酵食品や食物繊維を取りましょう。



<運動>

○体温をあげて免疫力アップ！！

- ・ウォーキング等の有酸素運動を行いましょう。
- ・ストレッチや軽い運動を短時間でも毎日続けましょう。



<休養>

○良質な睡眠で免疫力アップ！！

○笑うことで免疫力アップ！！

- ・入浴で体を温めぐっすり眠りましょう。
- ・なるべく笑顔で過ごしてみましょう。



☆免疫力を高める呼吸法の1つとして腹式呼吸があげられます。

(腹式呼吸のポイント！)

- ・横隔膜の動きを意識する。
- ・息を吐ききってから吸い込むこと。
- ・ゆっくりとお腹をへこませながら口から息を吐き、次にお腹を出しながら鼻からゆっくり息を吸い込む。

生活習慣を少し見直すだけでも、免疫力を上げることにつながります。

無理なく取り入れてみてはいかがでしょうか。

医務室 入江 朋子



むさし苑では、年に2回の消火・避難訓練と1回の風水害対応訓練の計3回の防災訓練を計画しており、今回7月17日（金）の14時から15時の間で消火・避難訓練と教育訓練を行いました。

今回は、コロナ禍という事もあり、出来るだけ、他者が交わらないよう考え、避難場所も各フロア2ヶ所に設定するなど、いつもと違う内容で行いました。教育訓練も水消火器を使用した消火訓練でしたが、密にならないよう、少なめの人数で行いました。

今後、感染症の流行や風水害等、様々なことが起こるかと思いますが、日々火災が起こらないよう心掛けながら、実際起った際には、入居者様の安全を第一に考え行動できるように、日々の介護や訓練等を頑張っていきたいと考えています。

ひまわり通り2丁目 中尾 大輔（防火管理者）

9月1日は防災の日

防災の日とは、「政府、地方公共団体等関係諸機関をはじめ、広く国民が台風高潮、津波、地震等の災害について認識を深め、これに対処する心構えを準備する」こととした日本の記念日です。由来には、関東大震災や伊勢湾台風の災害が背景にあります。

地震や津波、台風など自然災害はいつやってくるか分からないものです。現在は災害情報も早く発信はされますが、いざその時になってから焦っても間に合いません。事前にどれだけ準備しておけるかが大切です。家族で防災や防災グッズについて話し合いをするなどして、災害について認識を高めておく必要があります。

この機会にやってほしいこと

- 防災グッズの見直し
- 備蓄している食料品の買い替え
- 避難場所の確認
- 災害ダイヤルの使い方
- 家族がバラバラの時に災害が発生したらどうするか など

防災グッズの準備は3種類

- ①一時避難用（非常事態に一刻も早く持つためのもの）
- ②二次避難用（しばらく避難場所で生活するために必要な物）
- ③自宅備蓄用（ライフラインが復旧するまで自宅避難時に使うもの）

災害への意識を深め、「もしも」への備えを強化する日である防災の日。日頃より台風や地震など災害時の防災を意識して生活してみたいでしょうか。

編集委員長 奥野 亮



誌面の”ダイアンサス”は濟生会の紋章なでしこの花「Dios-anthus（神の花）」から採らせていただきました。ギリシャ語の「Dios（神）」「Anthus（花）」が語源。神より与えられた花、神聖な花の意味です。日本では「なでしこ」として親しまれ、「形が小さく、色愛すべきもので愛児に擬す」と万葉集にあります。「撫で」は愛撫するという意味で、「撫子(なでしこ)」と書きます。四季の移り変わりを告げる大切な花です。

なでしこ
||
ダイアンサス(Dianthus)
～濟生会 紋章の由来～



初代総裁・伏見宮貞愛親王は、創立当時、濟生会の事業についてのお心を次のような「撫子の歌」としてお詠みになりました。それにちなんで、いつの世にもその趣旨を忘れないようにと、撫子の花に露をあしらったものが、大正元年（1912）から濟生会の紋章となっています。

露にふす 末野の小草 いかにと
あさ夕かかる わがころかな

<発行者>

福岡県筑紫野市湯町2丁目9-2
社会福祉法人 賜 濟生会支部福岡県濟生会
特別養護老人ホーム むさし苑
施設長 田中 俊太